

# 「自然災害伝承碑の地図化を通じた災害教訓の周知・普及」の取組

資料3-2

## 西日本豪雨災害から学ぶ教訓

### 教訓：自然災害伝承碑の教訓伝承の重要性

広島県坂町小屋浦地区には、1907年（明治40年）に土砂災害があった旨の石碑が設置されています。

しかし、2018年（平成30年）西日本豪雨災害では過去の教訓が活かされず、小屋浦地区では避難勧告が出されて2時間後までの避難率はわずか1.9%しかありませんでした。



大阪府警察提供

## 取組目的

国土地理院では、2019年度から災害教訓の伝承に関する地図・測量分野からの貢献として、過去の自然災害に関する石碑やモニュメントなど「自然災害伝承碑」を地形図等に掲載していきます。これにより、過去の自然災害の教訓を地域の方々に適切にお伝えするとともに、教訓を踏まえた的確な防災行動による被害の軽減を目指します。

### 地理院地図における表示イメージ



### 2万5千分1地形図における表示イメージ



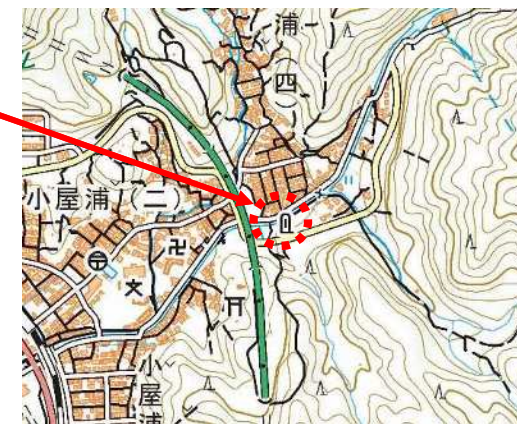
全国523市区町村 1,775基を地理院地図等に掲載しています。  
(令和5年1月26日時点)

## 「自然災害伝承碑」とは？

- ◆ 過去に発生した津波、洪水、火山災害、土砂災害等の自然災害に係る事柄（災害の様相や被害の状況など）が記載されている石碑やモニュメントです。
- ◆ 自然災害伝承碑の情報を地理院地図等に掲載することにより、過去の自然災害の教訓を地域の方々に適切にお伝えするとともに、教訓を踏まえた的確な防災行動による被害の軽減を目指します。



自然災害伝承碑  
(水害碑：広島県坂町)



新たに制定した地図記号「自然災害伝承碑」を地図に掲載し、かつて自然災害が発生した地域であることを示します。

※画像はイメージです。

## 「自然災害伝承碑」表示例




自然災害伝承碑  
(可恐の碑：茨城県大子町)

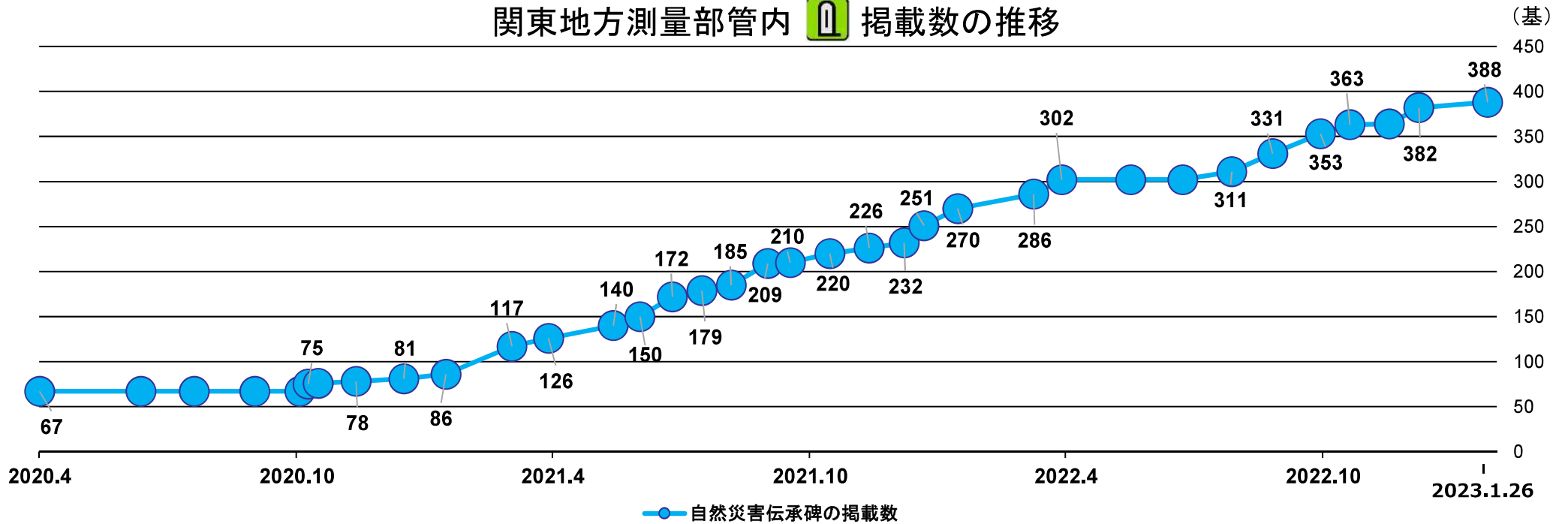


地理院地図

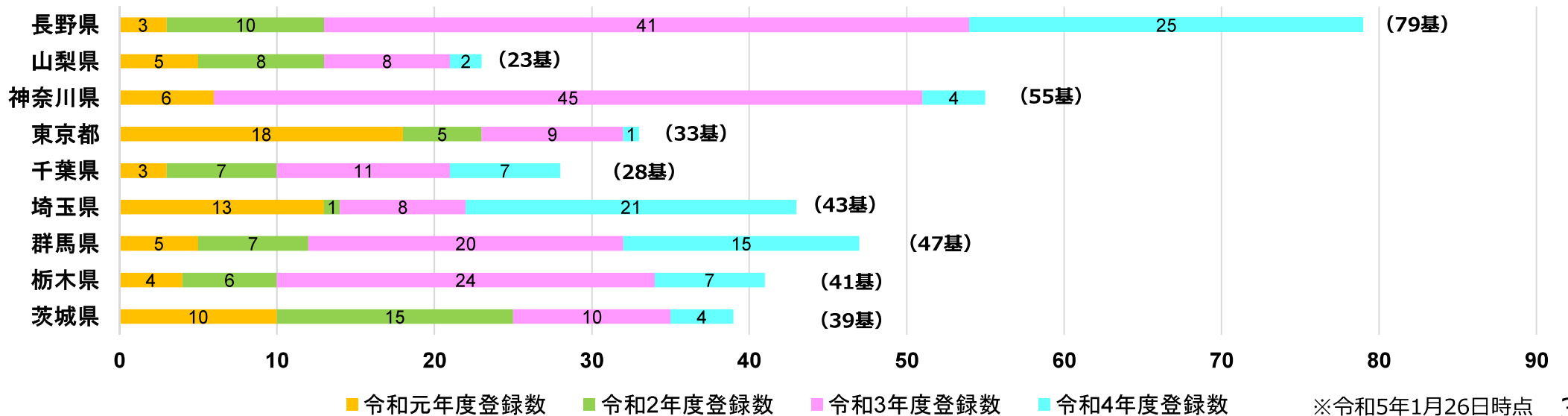


# 関東地方測量部管内の掲載状況

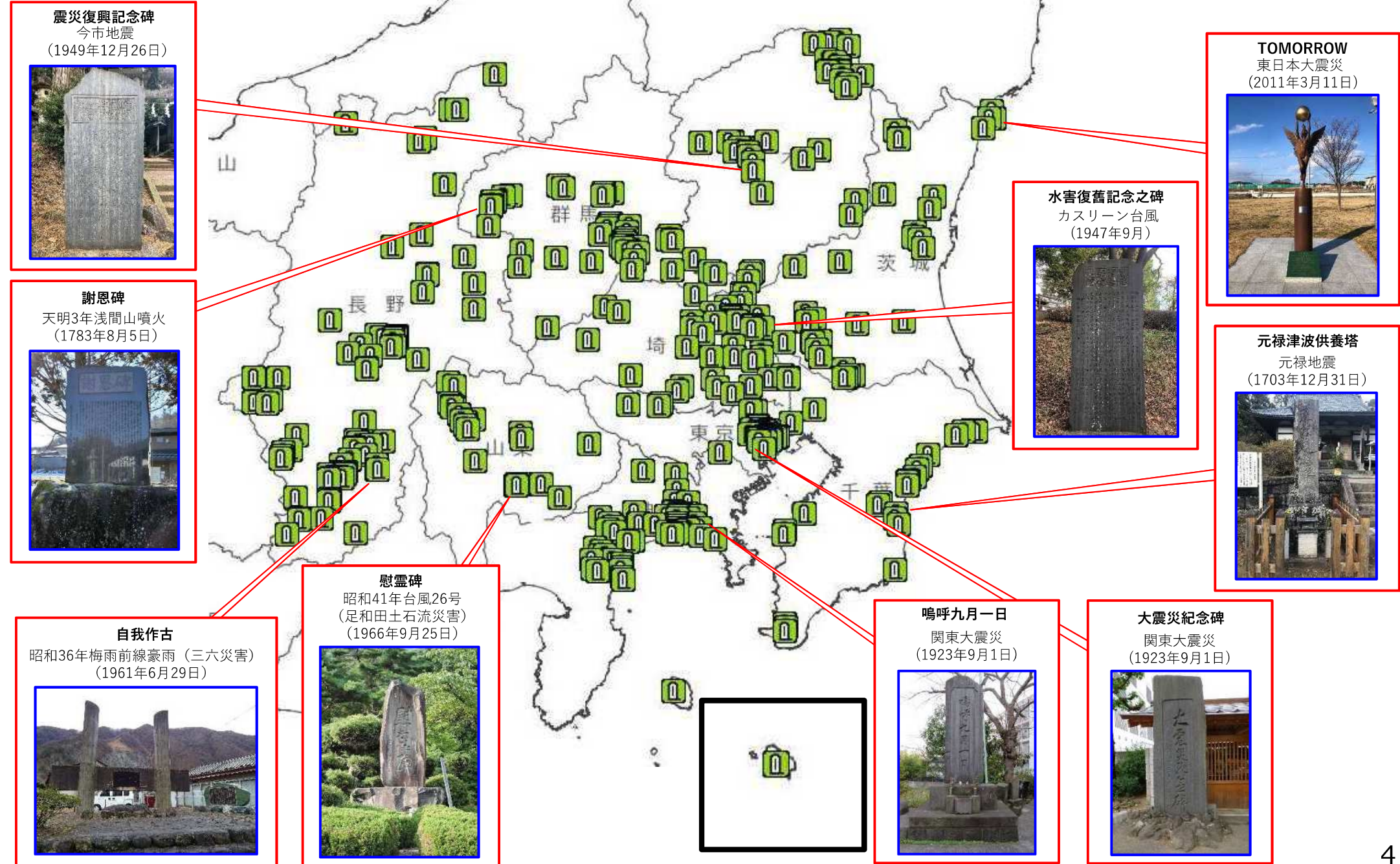
関東地方測量部管内  掲載数の推移



関東地方測量部管内における自然災害伝承碑 **139市区町村388基**



# 代表的な自然災害伝承碑



**震災復興記念碑**  
今市地震  
(1949年12月26日)

**謝恩碑**  
天明3年浅間山噴火  
(1783年8月5日)

**自我作古**  
昭和36年梅雨前線豪雨 (三六災害)  
(1961年6月29日)

**慰霊碑**  
昭和41年台風26号  
(足和田土石流災害)  
(1966年9月25日)

**嗚呼九月一日**  
関東大震災  
(1923年9月1日)

**大震災記念碑**  
関東大震災  
(1923年9月1日)

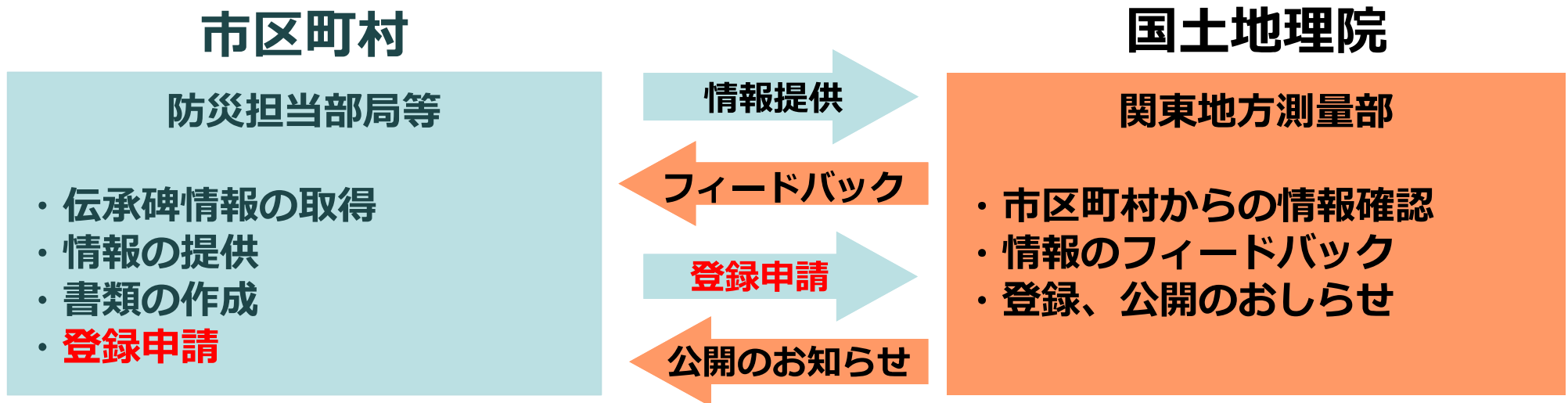
**水害復舊記念之碑**  
カスリーン台風  
(1947年9月)

**TOMORROW**  
東日本大震災  
(2011年3月11日)

**元禄津波供養塔**  
元禄地震  
(1703年12月31日)

# 自然災害伝承碑の申請

自然災害伝承碑の情報は市区町村の皆様と連携して収集しており、市区町村管内にある自然災害伝承碑の申請にご協力をいただいております。



自然災害伝承碑の詳しい申請方法は、以下のウェブサイトで紹介しています。

「自然災害伝承碑」の取組

<http://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi.html>

<問合せ先> 国土地理院 関東地方測量部防災課 担当:住谷、森本

Tel : 03-5213-2054

e-mail : gsi-denshou+kan10@gxb.mlit.go.jp